

歴史映画の変化に立ち会え



# 第4回京都ヒストリカ国際映画祭

開催期間: 2012年12月1日(土)~9日(日)

上映会場: 京都シネマ、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所

- 主催: 京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 ■共催: KYOTO CMEX実行委員会
- 特別協力: 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 ■協力: アンステイチュ・フランセ関西
- 後援: 一般社団法人日本映画製作者連盟 / 一般社団法人外国映画輸入配給協会 / 一般社団法人日本映画テレビ技術協会
- 協賛: 株式会社ジュピターテレコム / 日本航空株式会社 / 株式会社テスパック

# 上映スケジュール

	京都文化博物館	京都シネマ
12/1(土)	11:00—(124分) 『大奥～永遠～[右衛門佐・綱吉篇]』 ※上映後トークショー(15分) ゲスト:永江祐貴 およびオープニング・セレモニー	
	15:00—(100分) 『マリー・アントワネットに別れをつけて』 ※上映後トークショー(80分) ゲスト:ブノワ・ジャコー監督 司会:大寺眞輔	15:00—(92分) 『ビッケと神々の秘宝』
12/2(日)	12:00—(101分) 『雪之丞変化』	
	15:00—(108分) 『大武生』(原題) ※上映後ミニトーク ゲスト:玉置泰紀	15:00—(109分) 『トム・ソーヤー』
	18:00—(120分) UZUセミナー×HISTORICAコラボレーション企画 『デラシネマ』トークショー ゲスト:星野泰視	
12/3(月)	<b>休 映</b>	18:20—(102分) 『肉体の森』 ※上映後作品解説(60分) ゲスト:大寺眞輔
12/4(火)	15:00—(139分) 『隠し砦の三悪人』	
	18:00—(122分) 『神弓 -KAMIYUMI-』 ※上映後ミニトーク ゲスト:ミルクマン斉藤	18:20—(126分) 『トスカ』 ※上映後ミニトーク ゲスト:未定
12/5(水)	13:30—(209分) 『七人の侍』	
	18:00—(121分) 『アイアンクラッド』 ※上映後ミニトーク ゲスト:未定	18:20—(102分) 『イザベル・アジャーニの惑い』 ※上映後ミニトーク ゲスト:廣瀬純
12/6(木)	15:00—(130分) 『柳生一族の陰謀』	
	18:00—(144分) 『1612』 ※上映後ミニトーク ゲスト:なかざわひでゆき	18:20—(100分) 『禁禁本-SADE』 ※上映後ミニトーク ゲスト:廣瀬純
12/7(金)	15:00—(87分) 『羅生門』	
	18:00—(102分) 『ウモーン・パー・ムアン - 羅生門』 ※上映後トークショー(60分) ゲスト:パンテワノップ・テーワクン監督	18:20—(102分) 『肉体の森』
	東映京都撮影所	松竹撮影所
12/8(土)		11:00—(109分) 『トム・ソーヤー』
	13:30—(134分) 『るろうに剣心』 ※上映後トークショー(120分) ゲスト:大友啓史監督 谷垣健治アクション監督	14:00—(92分) 『ビッケと神々の秘宝』
12/9(日)	11:00—(108分) 『大武生』(原題)	10:30—(144分) 『1612』
	14:00—(121分) 『アイアンクラッド』 ※上映後トークショー(120分) ゲスト:アンドリュウ・カーティス 樋口真嗣監督	14:00—(102分) 『ウモーン・パー・ムアン - 羅生門』
		16:30—(122分) 『神弓 -KAMIYUMI-』

※トークショー・ミニトーク・作品解説への入場は、当該作品上映にご入場された方が対象となります。(当該作品上映後に入替は行いません。)  
 ※上映の日時や終了時刻は変更が生じる場合がございます。また上映作品・ゲストは変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。  
 ※ゲスト未定の上映については、決定し次第、公式ウェブサイトにて随時発表いたします。 <http://www.historica-kyoto.com>

## 上映作品



京都ヒストリカ国際映画祭は、世界でただひとつ「歴史」をテーマにした国際映画祭です。今年度は4つの上映部門を新たに設け、より多様な年代・地域・ジャンルの歴史映画をお楽しみいただけるようになりました。【ダブルオープニング上映】では、洋画・邦画の最新歴史大作2本を豪華上映。それぞれヴェルサイユ宮殿と江戸城を舞台とし、「王妃／女將軍」に思いを抱いた主人公が繰り広げる、日仏両国最高級の歴史ドラマです。【セレクション上映】では、タイやロシアなどからの日本初公開作品を含む世界の最新歴史映画8本を上映。このうち5本については、京都文化博物館が収蔵するコレクションから、題材・ストーリーに共通点・関連性のある日本の名作時代劇を、【関連上映】として、それぞれ同日・同会場で併せて上映しますので、ぜひ見比べてお楽しみください。【特集上映】では、オープニングを飾る「マリー・アントワネットに別れをつけて」のブノワ・ジャコー監督に日本で初めてフォーカス。フランス映画界の重鎮ジャコー監督特有のエロティシズムと衝撃に満ちた歴史映画4本を上映いたします。どの作品もお見逃しなく!

### ダブル・オープニング上映

### 『マリー・アントワネットに別れをつけて』



2012年12月15日（土）京都シネマ他全国ロードショー  
 © 2012 OMT PRODUCTIONS – LES FILMS DU LENDemain – MORENA FILMS – THEATRE DE LA BIENNE – EMMEDIA FRANCE – INVEST IMAGE

### 『大奥 ～永遠～ [右衛門佐・綱吉篇]』



## セレクション上映

### 『アイアンクラッド』



イギリス、アメリカ、ドイツ | 2011 | 121分  
 英題:Ironclad 監督:ジョナサン・イングリッシュ  
 出演:ジェームズ・スピリアフォイ、ブライアン・コックス、ポール・シアマッティ  
 配給:アース・スター エンターテインメント

- 12/5 18:00— 上映後ミニトーク(30分)  
京都文化博物館 ゲスト:未定
- 12/9 14:00— 上映後トークショー(120分)  
東映京都撮影所 ゲスト:アンドリュー・カーティス(プロデューサー) 樋口真嗣(『のぼうの城』監督)

## 関連上映

### 『大奥 ～永遠～ [右衛門佐・綱吉篇]』

日本 | 2012 | 124分  
 英題:The Castle of Crossed Destinies 監督:金子文紀  
 出演:堺雅人、菅野美穂、尾野真千子、柄本祐、田中聖、要潤、永江祐貴、宮藤官九郎、西田敏行  
 配給:松竹 アスミック・エース  
 男女逆転の世が誕生して30年。時は元禄、五代將軍綱吉の時代。大奥では後継者を巡って激しい派閥争いが起こっていた。京からやってきた公家の右衛門佐は、類まれなる野心と才覚で巧みに綱吉に取り入り、総取締として大奥での権勢を掌中に収めていく。一方、一人娘の松姫を亡くした綱吉は、政から遠ざけられ世継ぎ作りで専念させられることに。運命に翻弄され、生きる気力をも失った綱吉に手を差し伸べたのは、人知れず綱吉を見守り続けていた右衛門佐だった…。

フランス、スペイン | 2012 | 100分  
 英題:Farewell, My Queen 監督:ブノワ・ジャコー  
 出演:リア・セドゥ、ダイアン・クルーガー、ヴィルジニー・ルドワイヤン  
 配給:ギャガ  
 1789年7月14日、優雅な朝を迎えたはずのベルサイユが、1枚の紙に震える。バステューが陥落し、王妃とその寵愛を受けるポリニャック夫人の名前も載った286名のギロチンリストが発表されたのだ。「ずっとおそばに。」朗読係のシドニーは心酔する王妃への忠誠を誓うが、王妃からは思いよらぬ頼みを命ぜられる。「いいえ、あなたは私の大切な人、ポリニャック夫人の身代わり。」身を引き裂く嫉妬、生命の危険——果たして、シドニーの運命は——？

- 12/1 15:00— 上映後トークショー(80分)  
京都文化博物館 ゲスト:ブノワ・ジャコー監督 司 会:大寺眞輔(映画批評家)

日本 | 2012 | 108分  
 英題:My Kingdom 監督:ガオ・シャオン 出演:ウー・ズン、ハンギョン、パービィスー  
 アクション監督:サモ・ハンキンポー 配給:ツイン

中国、香港 | 2011 | 108分  
 英題:My Kingdom 監督:ガオ・シャオン 出演:ウー・ズン、ハンギョン、パービィスー  
 アクション監督:サモ・ハンキンポー 配給:ツイン

- 12/1 11:00— 上映後トークショー(15分)  
京都文化博物館 ゲスト:永江祐貴(俳優) およびオープニング・セレモニー

## 関連上映

### 『七人の侍』



日本 | 1954 | 209分 | 東宝作品  
 監督:黒澤明  
 出演:三船敏郎、志村喬、津島恵子、島崎雪子、藤原釜足、加東大介

- 12/5 13:30— 上映後ミニトーク(30分)  
京都文化博物館

## セレクション上映

### 『ウモーン・パー・ムアン – 羅生門』 日本初上映



タイ | 2011 | 102分  
 英題:The Outrage 監督:バンテワノップ・テーワクン  
 出演:マリオ・マウラー、アナンダ・エヴァリン・ナム、ライラ・ブンヤサク

- 12/7 18:00— 上映後トークショー(60分)  
京都文化博物館 ゲスト:バンテワノップ・テーワクン監督
- 12/9 14:00— 松竹撮影所

## 『1612』 日本初上映



ロシア | 2007 | 144分  
 英題:1612 監督:ウラシミール・コティネンコ  
 出演:ビョートル・キスロフ、アルチュール・スモリャノフ、ヴィオレッタ・ダヴォドフスカヤ

- 12/6 18:00— 上映後ミニトーク(30分)  
京都文化博物館 ゲスト:なかがわひでゆき(映画ノボブミュージック研究執筆家)
- 12/9 10:30— 松竹撮影所

### 『大武生』(原題) 日本初上映



中国、香港 | 2011 | 101分 | 松竹下加茂作品  
 監督:衣笠貞之助  
 出演:林長二郎、高堂国典、千早晶子、伏見直江、山路義人、志賀靖郎

- 12/2 15:00— 上映後ミニトーク(30分)  
京都文化博物館 ゲスト:玉置泰紀(関西ウォーカー 編集長)
- 12/9 11:00— 東映京都撮影所

### 『神弓 -KAMIYUMI-』



韓国 | 2011 | 122分  
 英題:War of the Arrows 監督:キム・ハンミン  
 出演:バク・ヘイル、ムン・チュエワン、リュ・スンリョン 配給:ショウゲート

- 12/4 18:00— 上映後ミニトーク(30分)  
京都文化博物館 ゲスト:ミルクマン齊藤(映画評論家)
- 12/9 16:30— 松竹撮影所

## 関連上映

### 『羅生門』



日本 | 1951 | 87分 | 大映京都作品  
 監督:黒澤明  
 出演:三船敏郎、京マチ子、志村喬、森雅之、千秋実、上田吉三郎

- 12/7 15:00— 京都文化博物館

### 『柳生一族の陰謀』



日本 | 1978 | 130分 | 東映京都作品  
 監督:深作欣二  
 出演:萬屋錦之介、松方弘樹、西郷輝彦、山田五十鈴、千葉真一、矢吹二郎

- 12/6 15:00— 京都文化博物館

### 『雪之丞変化』



日本 | 1935 | 101分 | 松竹下加茂作品  
 監督:衣笠貞之助  
 出演:林長二郎、高堂国典、千早晶子、伏見直江、山路義人、志賀靖郎

- 12/2 12:00— 京都文化博物館

### 『隠し砦の三悪人』



日本 | 1958 | 139分 | 東宝作品  
 監督:黒澤明  
 出演:三船敏郎、千秋実、藤原釜足、藤田進、志村喬、上原美佐

- 12/4 15:00— 京都文化博物館

## セレクション上映

### 『るろうに剣心』



### 『ピッケと神々の秘宝』



ドイツ | 2011 | 92分  
 英題:Wickie and the Treasure of the Gods 監督:クリスティアン・ディッター 出演:ヨナス・ヘンメルレ、ワルデマー・コフス  
 協力:キングダー・フィルム・フェスティバル

- 12/1 15:00— 京都シネマ
- 12/8 14:00— 松竹撮影所

## 特集上映【ブノワ・ジャコー監督特集】

### 『肉体の森』



フランス、ドイツ | 2010 | 102分  
 英題:Deep in the Woods 監督:ブノワ・ジャコー  
 出演:イジルドル・ベスコ、ナウエル・レベリスカヤ、ジェローム・キルシャ  
 発売:販売:アット エンタテインメント

- 12/3 18:20— 上映後作品解説(60分)  
京都シネマ ゲスト:大寺眞輔(映画批評家)
- 12/7 18:20— 京都シネマ

### 『トスカ』



フランス、ドイツ、イタリア、イギリス | 2001 | 126分  
 英題:Tosca 監督:ブノワ・ジャコー  
 出演:アンジェラ・ゲオルギュー、ロベルト・アラニーヤ、ルジジェー・ロライモンティ

- 12/4 18:20— 上映後ミニトーク(30分)  
京都シネマ ゲスト:未定

### 『るろうに剣心』

日本 | 2012 | 134分  
 英題:Rurouni Kenshin 監督:大友啓史 出演:佐藤健、武井咲、吉川晃司、蒼井優  
 アクション監督:谷垣健治  
 配給:ワーナー・ブラザーズ映画

幕末から明治になり、かつて「人斬り拔刀斎」として恐れられた剣客・緋村剣心は「不殺(ころさず)」の誓いのもと流浪人となっていた。流浪の旅の途中、剣心は神谷道場の師範代・薫を助けたことから、薫のところで居候することに。一方、街では「拔刀斎」を名乗る人物による人斬り事件が発生しており…。

- 12/8 13:30— 上映終了後トークショー(120分)  
東映京都撮影所 ゲスト:大友啓史監督 谷垣健治アクション監督

### 『トム・ソーヤー』 日本初上映



ドイツ | 2011 | 109分  
 英題:Tom Sawyer 監督:ヘルミーネ・フントクゲボルト  
 出演:ルイス・ホフマン、レオン・ザイデル、ハイケ・マカチュ

- 12/2 15:00— 京都シネマ
- 12/8 11:00— 松竹撮影所

## 『イザベル・アジャーニの惑い』



フランス | 2002 | 102分  
 英題:Adolphe 監督:ブノワ・ジャコー  
 出演:イザベル・アジャーニ、スタニスラス・メラール、ジャン・ヤンヌ

- 12/5 18:20— 上映後ミニトーク(30分)  
京都シネマ ゲスト:廣瀬純(龍谷大学教員・映画批評家)

### 『発禁本-SADE』



フランス | 2000 | 100分  
 英題:SADE 監督:ブノワ・ジャコー  
 出演:ダニエル・オートゥイユ、ジャンヌ・バリアル、イジルドル・ベスコ

- 12/6 18:20— 上映後ミニトーク(30分)  
京都シネマ ゲスト:廣瀬純(龍谷大学教員・映画批評家)

# 京都映画・映像企画市 -Kyoto Film Pitching-

## 関西の若手映画・映像クリエイター必見!

「京都映画・映像企画市 -Kyoto Film Pitching-」は、若手映画・映像製作者(監督、プロデューサー等)を対象とした企画コンテストや交流・相談会の開催などを通じて、時代劇の拠点としての京都の優位性を活かし、映画・映像や若手クリエイターが世に出ていく仕組みを構築することを目的とし、実施しています。

【開催日時】 平成24年12月8日(土) 13:00~17:30(開場12:00)

【場 所】 立命館松竹スタジオ(松竹撮影所内)

【入 場 料】 無 料

【主催】 京都府、特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)京都事務所

【共催】 KYOTO Cross Media Experience 実行委員会、太秦フェスティバル実行委員会

【後援】 経済産業省近畿経済産業局

【協力】 東映(株)京都撮影所、(株)松竹撮影所、(株)東映京都スタジオ、京都文化博物館、立命館大学映像学部

13:00~15:00

### 【企画コンテスト(プレゼンテーション審査)】

「時代劇もしくはそれに類似するジャンルの作品」および「京都府内で撮影を想定した作品」を対象に若手映画・映像製作者から一般公募した映画・映像企画について、書類審査を通過した5~10企画の一般公開によるプレゼンテーション審査です。評価者には、日本の映画界をリードするプロデューサーや関係者が勢ぞろい! 選出された優秀賞(1企画)には、400万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与されます。どなたでもご観覧いただけますので、ぜひご来場ください!

評価者(順不同・敬称略)

○掛尾良夫

(キネマ旬報映画総合研究所 エグゼクティブディレクター)

○榎望

(株式会社松竹撮影所 企画製作部 ゼネラルプロデューサー)

○天野和人

(東映株式会社 企画製作部 チーフプロデューサー)

○千葉善紀

(日活株式会社 チーフプロデューサー)

○竹中功

(株式会社よしもとクリエイティブ・エージェンシー 専務取締役)

○小岩井宏悦

(ワーナー・ブラザーズ映画 映画部門・ローカルプロダクション本部長)

15:30~17:30

### 【交流・相談会】

若手映画・映像製作者、映画業界関係者、学生などを幅広く対象とし、映画・映像制作に関する補助金やファウンディング、映画祭出品に関する情報交換を行えるよう、交流の場を設けます。映画・映像に関する支援を行っている全国の代表的な団体や映画祭組織が一堂にブースを出展する、大変貴重な機会です。映画・映像を作りたいと考えている方、完成した作品の展開に悩んでいる方など、ぜひご来場いただき、次なるステップへとつなげてください!

●参加団体・組織による相談ブース開設

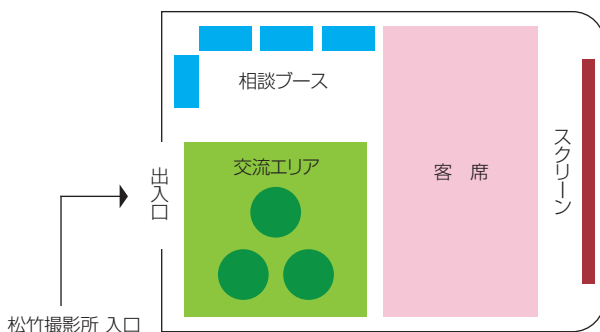
●各参加団体・組織による支援作品上映(各30分)

参加団体・組織(順不同・敬称略)

○公益財団法人 ユニジャパン

○SKIPシティ国際Dシネマ映画祭

○特定非営利活動人 映像産業振興機構



【お問い合わせ先】

京都映画・映像企画市事務局(特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)京都事務所)

〒616-8167 京都府京都市右京区太秦多藪町45-19ヤマモトビル2F

TEL/FAX:075-432-7340 e-mail:kyoto@vipo.or.jp

## 連携企画



### UZUセミナー×京都ヒストリカ国際映画祭 コラボレーション企画 「デラシネマ」トークショー

日 時：2012年12月2日(日) 18:00～20:00

場 所：京都文化博物館

登壇者：星野泰視(漫画家)、奥村元春(『モーニング』副編集長)

司 会：高橋剣(東映京都撮影所)、森脇清隆(京都文化博物館)

料 金：無料(事前応募制)

### 星野泰視

1969年、山形県生まれ。浦沢直樹のアシスタント出身。『週刊少年マガジン』『モーニング』などの講談社の漫画雑誌にて作品を発表。2000年、『哲也-雀聖と呼ばれた男』(原作:さいふうめい)で第24回講談社漫画賞少年部門を受賞するなど、漫画家として一線で活躍。

#### 応募方法

京都ヒストリカ国際映画祭の公式ホームページから <http://www.historica-kyoto.com>  
<『デラシネマセミナー』お申し込みフォーム> に必要事項を記入し、11月28日(水)正午までにお申し込み下さい。

※応募者多数の場合は先着順とさせていただきます。

※個人情報、本セミナーの名簿作成や参加証送付等の連絡に使用するほか、主催者からの案内に使用させていただきます。

東映京都撮影所、松竹撮影所が位置する太秦にある特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)京都事務所では、映像クリエーターやベンチャー企業を支援するインキュベーション施設・京都太秦クリエーター支援拠点(UZU)を運営しており、年に数回「UZUセミナー」と称した独自のイベントを実施しています。

今年度のUZUセミナー第1弾は、戦後の京都の映画撮影所を舞台に若手助監督と大部屋俳優のサクセスストーリーを描いた漫画『デラシネマ』の作者である星野泰視さんを講師にお招きします。

『デラシネマ』は、講談社の『モーニング』で2011年1号から2012年37・38合併号まで連載され、今年12月に単行本フィナーレとなる第8巻が刊行される人気漫画作品です。本作の執筆にあたって、星野泰視さんや編集者の方々が東映京都撮影所を取材されたこともあり、この度、京都ヒストリカ国際映画祭とコラボレーション企画として開催が決定いたしました。

京都だからこそ実現した漫画と映画の異色のコラボレーション企画、ぜひご期待ください!

## 連携イベント

### 第4回京都ヒストリカ国際映画祭関連イベント アンスティチュ・フランセ関西 シネクラブ

会場:アンスティチュ・フランセ関西 稲畑ホール  
[www.ifjk.jp](http://www.ifjk.jp)

#### 12月4日(火)

##### 【ブノワ・ジャコーへのオマージュ】

14:30～ 『インディア・ソング』

India Song | 1975 | 115min  
監督:マルグリット・デュラス 出演:デルフィーヌ・セリグ

##### 【映画で見るフランス現代史①】

16:45～ 『夜と霧』

Nuit et brouillard | 1955 | 30min  
監督:アラン・レネ

※上映後、西岡恒男さんによる作品解説あり

#### 12月5日(水)

##### 【映画で見るフランス現代史②】

13:00～ 『二十四時間の情事』

Hiroshima mon amour | 1959 | 90min

監督:アラン・レネ 出演:エマニュエル・リヴァ

※上映後、西岡恒男さんによる作品解説あり

##### 【映画で見るフランス現代史③】

15:45～ 『ミュリエル』

Muriel ou le temps d'un retour | 1963 | 115min

監督:アラン・レネ 出演:デルフィーヌ・セリグ

#### 12月6日(木)

13:00～ 『ミュリエル』

※上映後、西岡恒男さんによる作品解説あり

16:15～ 『二十四時間の情事』

料金:一般800円、京都シネマ会員・学生500円

クラブ・フランス会員無料

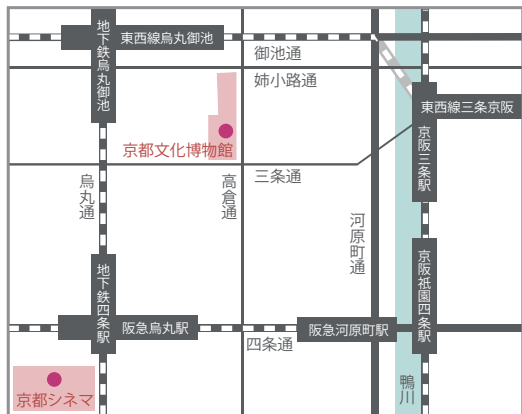
お問い合わせ:アンスティチュ・フランセ関西

Tel. 075-761-2105 Fax. 075-761-2106

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8

# アクセス

## 京都シネマ・京都文化博物館(12/1~7)



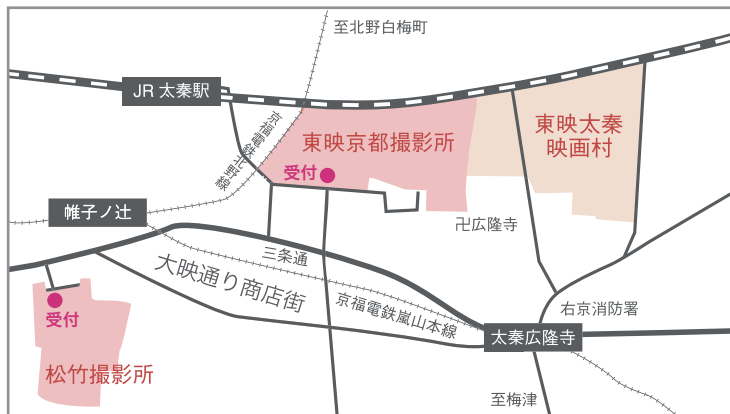
### ■京都シネマ(COCON烏丸3F)

- 市バス 四条烏丸下車 徒歩すぐ
- 地下鉄 四条駅下車【2】番出口 四条烏丸西直結
- 阪急 烏丸駅下車【23】番出口 三井住友信託銀行口直結

### ■京都文化博物館

- 地下鉄 烏丸御池駅下車【5】番出口から徒歩3分
- 阪急 烏丸駅下車【16】番出口から徒歩7分
- 京阪 三条駅下車【6】番出口から徒歩15分
- 市バス 堺町御池下車 徒歩2分

## 東映京都撮影所・松竹撮影所(12/8・9)



### ■東映京都撮影所

- JR 山陰本線(嵯峨野線)太秦駅下車 徒歩5分
- 京福電鉄嵐山本線 太秦広隆寺駅下車 徒歩7分
- 市バス11系統・嵐山/山越行 太秦開町下車 徒歩2分

### ■松竹撮影所

- JR 山陰本線(嵯峨野線)太秦駅下車 徒歩6分
- 京福電鉄嵐山本線 帷子ノ辻駅下車 徒歩3分
- 市バス11系統・嵐山/山越行 帷子ノ辻下車 徒歩2分

※ご来場は公共交通機関をご利用の上、お越し下さい(駐車場はございません)。  
※上映会場が複数ございます。お間違のないよう、ご参加下さい。

# チケット・入場方法

## 【入場料】

1000円(前売券・当日券共通価格、1作品あたり)

- ※トークショーは作品をご覧になった方が対象となります。
- 上映後入替は行いません。トークショーのみのチケットはございません。
- ※チケットをお買い求め後の払い戻し・返金・再発行等は一切行っておりません。あらかじめご了承ください。

## 【購入方法】

### ●前売券

- 購入方法:e+(イープラス)、京都シネマにて購入可能
- 販売期間:11月10日(土)10時~11月28日(水)18時
- ※ダブルオープニング上映の作品についてはイープラスのみでの販売となります。
- ※前売券販売終了後は、当日券をお求めください。
- ※前売券が完売の場合は当日券の販売を行いません。
- 当日券の販売情報は11月28日以降、京都ヒストリカ国際映画祭の公式ウェブサイトのチケットページからご確認ください。

### ●当日券

- 購入場所:各上映会場(京都シネマ、京都文化博物館、東映京都撮影所、松竹撮影所)
- ※当日券は、該当の作品が上映される会場でのみ購入できます。
- ※『クワ博ナビ』メールマガジンを印刷して持参された方は50%OFFで当日券を販売致します。
- (但しダブルオープニング上映、関連上映、前売券完売時は適用不可)

## 【前売券購入場所】

- e+(イープラス)
- ・パソコンからのご購入  
⇒<http://eplus.jp/>
- ・ファミリーマートでのご購入  
⇒<http://eplus.jp/page/eplus/familymart/>
- ※イープラスでは上映作品での検索がシステムの関係上、行えません。
- 「京都ヒストリカ国際映画祭」で検索いただき、該当作品の会場・上映日時をご確認の上、ご購入ください。

### ●京都シネマ…COCON烏丸3F

## 【入場方法】

- 前売券、当日券共に共通の整理番号が記載されています。
- 開映30分前から整理番号順にご入場いただけます。
- (京都シネマは開映15分前からのご入場となります。)
- ※整理番号は前売券、当日券の順に番号が振られていますので、入場順は前売券をお持ちの方が優先となります。

# お問い合わせ先

## 京都ヒストリカ国際映画祭事務局

〒600-8073 京都市下京区堺町綾小路下ル永原町153-204  
TEL : 075-276-3596(平日:10時~18時) FAX : 075-371-4006

MAIL : [info@historica-kyoto.com](mailto:info@historica-kyoto.com)  
WEB : <http://www.historica-kyoto.com/>